

4 A, B 2 つのさいころを投げ、出た目の差の絶対値を X とする。 A のさいころではどの目の出る確率も $\frac{1}{6}$ であるが、 B のさいころでは 1, 3, 5 の目の出る確率がいずれも $\frac{1}{9}$ で 2, 4, 6 の目の出る確率がいずれも $\frac{2}{9}$ であるとする。

- (1) 確率変数 X の確率分布を求めて表にせよ。
- (2) 確率変数 X の平均値（期待値）を求めよ。